

様式第1号

公認会計士企業年金基金
結婚祝金請求書

※記載上の注意が裏面にありますので、必ずお読みの上ご記入下さい。 令和 年 月 日

請求者	氏名	フリガナ _____ (旧姓 _____)	加入者番号	_____ _____ _____	性別	男・女	
	住所	〒 _____ TEL (_____)		生年月日	昭和 平成	年 月 日	
事業所	名称	_____ _____		事業所番号	_____		
	所在地	〒 _____ TEL (_____)					
結婚年月日		令和 年 月 日	結婚した相手の氏名		_____		
事業主証明欄	上記のとおり、相違ないことを証明します。 令和 年 月 日 事業主氏名 _____						
委任欄	結婚祝金の受領を事業主 _____ に委任します。 令和 年 月 日 委任者(請求者) 氏名 _____						
給付金の振込先	口座名義	フリガナ _____				基金受付欄	
	銀行名等	_____		本支店名	_____		
		預金種目	口座番号		_____		
	ゆうちょ銀行	通帳記号	通帳番号		_____		

※「支給決議書」欄は、基金で使用する欄ですので記入しないで下さい。

支給決議書	決裁年月日	令和 年 月 日	常務理事	事務長	課長	担当者
	支給年月日	令和 年 月 日				
	支給金額	円	資格取得 年月日	昭和 平成	年 月 日	加入者 期間
			資格喪失 年月日	令和	年 月 日	

記 載 上 の 注 意

(結婚祝金の支給要件と支給金額等)

1. 結婚祝金の支給要件は、次のとおりです。
 - (1) 公認会計士企業年金基金の加入者期間(以下「加入者期間」といいます。)が1年以上ある加入者が結婚したとき
 - (2) 加入者期間が1年以上ある女子加入者が、加入者の資格を喪失した後、3カ月以内に結婚したとき
2. 結婚祝金の支給金額は、加入者一人につき10,000円です。
3. 結婚祝金は、結婚した日から1年以内に請求して下さい(1年を経過すると請求権が消滅し、請求できなくなります)

(記載要領及び添付書類)

4. 「氏名」欄及び「生年月日」欄には、請求者(加入者又は加入者であった者)の氏名及び生年月日を記入して下さい。なお、結婚して姓が変わっている方は、「旧姓」欄も記入して下さい。
5. 「加入者番号」欄には、公認会計士企業年金基金(以下「基金」といいます)の加入者番号通知(又は厚生年金基金加入員証)の番号を記入して下さい。
6. 「事業所番号」欄には、基金の事業所番号を記入して下さい。
7. 「結婚年月日」欄には、戸籍謄本等の婚姻を証する日を記入して下さい。
8. 「事業主証明欄」には、結婚に関して事業主の証明を受けて下さい。なお、10の婚姻を証する書類をこの請求書に添付される場合は、「事業主証明欄」の記入は不要です。
9. 1の(1)に該当する者の結婚祝金は、事業主を通じて請求者にお支払いしますので、「委任欄」に氏名等を記入して下さい。なお、加入者の資格を喪失している者については、直接、請求者にお支払いすることもできます。その場合は、「委任欄」の記入は不要です。
10. 「事業主証明欄」に事業主の証明がない者及び1の(2)に該当する者が請求する場合は、婚姻を証する戸籍抄(謄)本等をこの請求書に添付して下さい。
11. 「給付金の振込先」欄は、次により記入して下さい。
 - (1) 結婚祝金の受け取りを事業主に委任した場合には、受任した事業主の預金口座等について記入して下さい。
 - (2) (1)以外の場合には、請求者本人の預金口座等について記入するとともに、この請求書に、当該預金口座(預金通帳等)の写し(金融機関・支店名、口座名義人、預金種目及び口座番号が記載されている頁)を添付して下さい。
 - (3) 振込先の「金融機関名」及び「本支店名」欄には、「〇〇銀行」、「〇〇信託銀行」、「〇〇支店」、「〇〇出張所」など、正式な名称及び本支店名をご記入ください。